

10月10日は前期終業式及び後期始業式がありました。式の中で生徒が前期の振り返りを発表したり、探究学習の学びを発表したりしました。

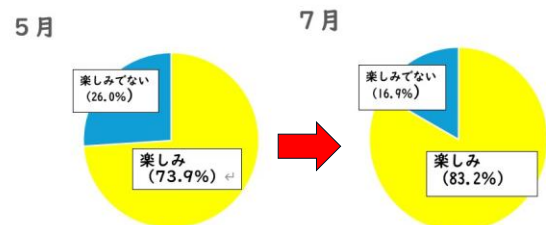


前期終業式校長講話「探究の時間の価値」

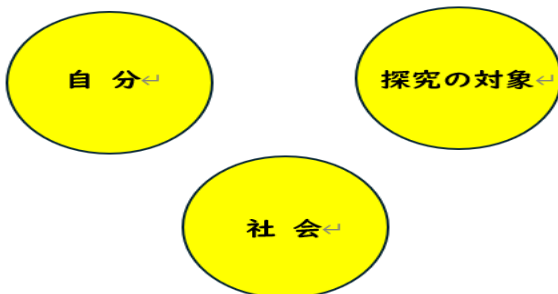
今年飯綱中では、新しいチャレンジを始めました。毎週水曜日午後の「探究の時間」です。

夏休み前に、全校の皆さんに「探究の時間」についてアンケートを取りました。探究の時間が「楽しみ」と答えた人はスタートした5月から7月の間に約10%増えました。一方「楽しみでないと答えた人は7月の時点ではまだ16.8%いました。そこで、「好きなことややりたいことに取り組んでいるのに、なぜ、探究の時間が楽しみでない人がいるのか」この問いが、私の中に生まれました。皆さんのアンケートを読むと、楽しくないと答えた人たちは、「どんな問いにしたらよいのか」「どのように活動を進めて行けばいいのか」「どんな発表にしたらよいのか」という不安を抱えていることがわかりました。そこで自分なりにこの問題の解決方法を考えてみました。

探究の時間は楽しみですか？



探究テーマに対する3つの視点



まず、「どんな問いにしたらよいのか」についてです。「問い」を設定するのが難しいと感じている人は少なくありません。「やりたいことがない」と悩む人もいます。中には、「問い」を変えたいと思う人もいました。大切なことは「自分で考えること」です。でも、考えるためには目的が必要です。それも必要感がある目的です。そこで、問いを生み出すための3つの視点を紹介します。

一つ目は、「自分」の好き、やりたい、知りたいという欲求です。

音楽を聴くことが好きな2年生のSさん、漫画を描くことが好きな1年生のMさん、鉄道に興味のある2年生のSさんとTさんたちは、調べているうちに次々と問いが生まれて追究を続けていました。また、フィギュアを作りたい3年生のNさんは、卒業後も「もの作り」を続けたいと考えているそうです。好きなことの探究は、中学校を卒業後も続けていけるということです。

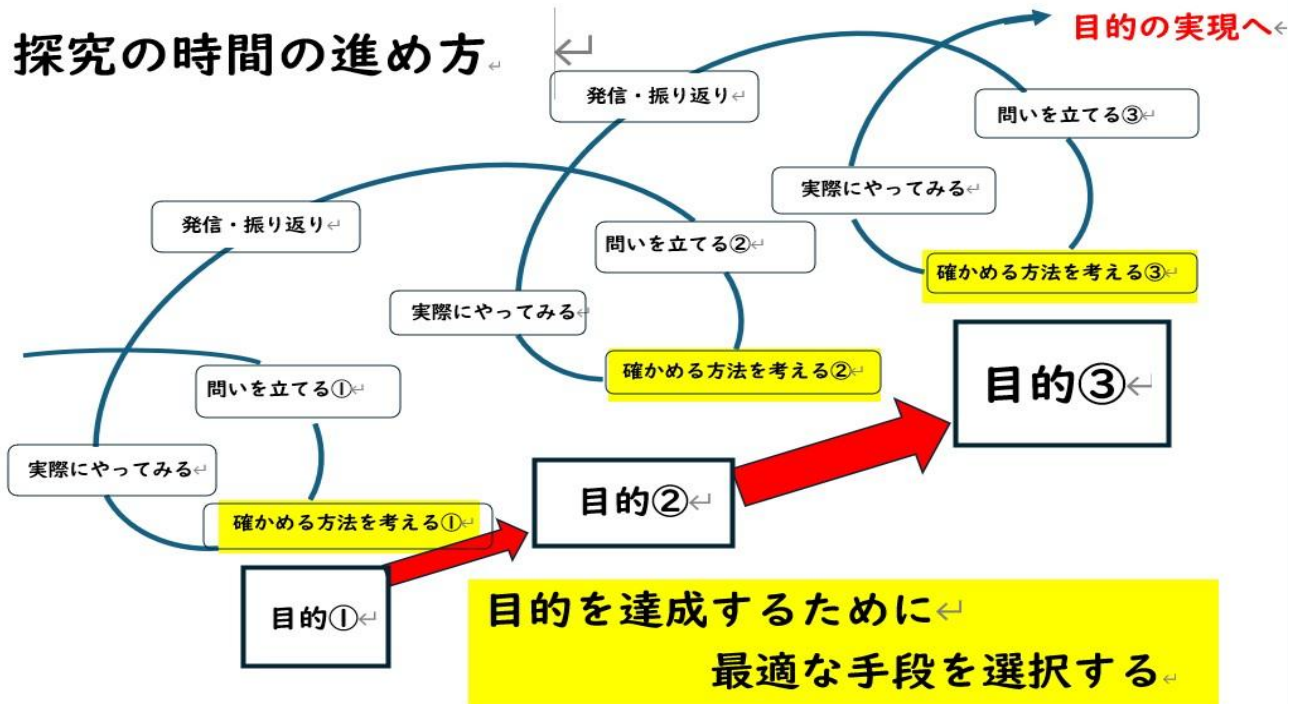
二つ目は「探究の対象」です。

「誰かの役に立ちたい、喜んで欲しい」という願いのことです。2年生のNさん「自分が好きなお祭りのことをたくさんの人に知って欲しい」という願いをもって、休みの日に歴史ふれあい館に出かけたり、自分の地区のお祭りに参加するだけでなく他地区のお祭りにも出かけたりして発表の意欲を高めていました。また、3年生のOさんは「地域住民の安全を守りたい」という願いをもって飯綱町の危険箇所を調べ、地域の人に知ってもらうためにWEBサイトを制作しています。探究の対象が明確になると発信する必要感が生まれるということです。

最後の視点「社会」の前に活動の進め方について話したいと思います。

この図を見てください。探究は目的達成のために「問いを立て、自分なりの解決の方法で自分なりの答えを導き出す」ことの繰り返しです。

探究の時間の進め方



1年生のTさんは、社会科の授業で気候と衣服の関係について興味を持ち、その学びをさらに深めようとしていました。学び方は、探究も授業も同じということです。また、1年生のHさん、Wさんは「勉強に集中する方法」を調査し、それを実行し、分析するという探究のサイクルを繰り返して自分なりの答えを導き出していました。探究を通して「自分の問いを解決するために一番良い方法は何か」を学ぶことができるということを知っておきましょう。

そして、最後の視点「社会」です。社会の問題のような大きな課題を解決するには「誰とつながればいいのか」が重要なポイントとなります。3年生は総合的な学習の時間で「地域に貢献する」というテーマで、地域おこし協力隊の方と一緒に、自分の好きなことや興味のある事を活かして飯綱町の魅力を伝えるイベントの実現に向けて取り組んでいるグループがあります。また、飯綱町の特産品であるリンゴをアピールしたいと、いづなコネクトイーストにある「泉が丘喫茶店」と一緒に商品開発をしているグループもいます。社会とつながると自分の好きなことややりたいことの価値がわかり、自信をもって活動を進めていくことができるのです。

最後に「どんな発表にしたらよいのか」です。発表については、みんな同じやり方でなくても自分の発表したいやり方で大丈夫です。発表することで理解を深めたり、新たな課題を見出したりすることにつながります。また、発表を見たり、聞いたり、読んだりした人からの感想から自分では気づかなかった新しい発見があると思います。だれも同じことをやっている人はいないので、ぜひ、自分の考えを発信して、「探究の価値」を実感して欲しいと思います。

探究の時間

II

誰もまねできない

自分だけのやり方

「好きなことをとにかくやり続ける」ははじめからできる人はそんなにいません。うまくいかずにくじけるんだけど、好きだからまたやる。やってやってやりまくっているうちにできってくる。だれもまねできない自分だけのやり方で、自分が努力したり、友だちに恵まれたり先生に恵まれたり、いろんな人と関わり合いながら続けていってほしいと思います。

目的をもって、自分なりのやり方で続けること（モチベーション）が大切です。そして、自分の生きる目的を自分の言葉で語れるようになりましょう。